

衛星クラブのガイド



衛星クラブは、会員と入会候補者が一緒に新しいクラブ体験をつくり出す方法であり、地元の既存のクラブが支援する小規模なグループです。**衛星クラブ**はより少ない人数で立ち上げることができ、会員の希望に合わせた体験をクラブで提供できます。

衛星クラブは、スポンサーであるロータリークラブまたはローターアクトクラブに付随して設立されます。スポンサークラブは、衛星クラブの管理主体として機能します。いずれ独立したロータリークラブ／ローターアクトクラブとなる衛星クラブもありますが、それ以外の場合は、スポンサークラブからの援助を受けながら、衛星クラブのまま活動を続けます。

なぜ衛星クラブをつくるのか？

ロータリークラブやローターアクトクラブと同様、衛星クラブを設立することで、地域社会に奉仕しながら、地元の人びとが集まり、個人的・職業的に成長することができます。衛星クラブは、地元のロータリークラブ／ローターアクトクラブとは異なる体験を求めている会員によって設立されるケースが多くあります。衛星クラブ設立の理由として多いのは次のようなものです：

- **簡単に設立できる：**ロータリー衛星クラブは8人、ローターアクト衛星クラブは4人以上の会員で設立が可能です。また、設立にあたってガバナーからの承認は必要ありません。
- **柔軟性がある：**衛星クラブの会員は、地元の既存のクラブとは異なる時間や場所で例会を開くことができます。
- **クラブで異なる体験ができる：**衛星クラブでは、近隣のロータリークラブ／ローターアクトクラブとは異なる体験ができます。従来とは違う例会形式や、ほかとは異なる文化を持つクラブを希望する人に最適です。
- **費用が比較的少ない：**衛星クラブでもRIへの人頭分担金は同額ですが、クラブと地区が設定する会費には大きな差があります。多くの場合、衛星クラブでは食事を省くことで会費を通常よりも低く抑えています。



地域によっては、独立する意向のない衛星クラブを companion club と呼ぶこともあります。

- **特定の関心に沿って活動できる：**衛星クラブの場合、会員の関心に合わせて特定の奉仕活動を実施したり、プロジェクトを拡大したりできます。
- **ロータリーの参加者基盤を拡大できる：**衛星クラブは、クラブがない地域にロータリーを紹介するきっかけとなります。また、地域社会でのロータリーのインパクトと可視性を高めることもできます。

既存のクラブとは異なる体験を衛星クラブが提供することで、会員候補者にアピールできる幅広いロータリー体験が生み出されます。

衛星クラブの運営

衛星クラブは、ほかのクラブと同様に例会を開き、奉仕活動を実施し、独自のクラブリーダーを選びます。異なるのは、衛星クラブの設立に必要な会員数が、独立したロータリークラブ／ローターアクトクラブよりも少ないということです。また、衛星クラブはスポンサークラブによって管理されています。ロータリー衛星クラブの会員数が20名以上、ローターアクト衛星クラブの会員数が12名以上となった場合、衛星クラブのままでいるか、独立したクラブとなるために加盟申請を行うかのいずれかを選択できます。会員数が多くなっても、スポンサークラブとのつながりを維持しながら衛星クラブであり続けることを希望するクラブもあります。

衛星クラブとスポンサークラブとの関係

スポンサークラブは、衛星クラブに助言と支援を提供します。スポンサークラブは公式の管理主体とみなされ、両クラブの間に対立が生じた場合の最終決定権を有します。衛星クラブの成功には、スポンサークラブとの頻繁なコミュニケーションが欠かせません。衛星クラブがいずれ独立するかどうか（またはいつ独立するか）、双方のクラブがどのような関係を維持していくかなどを、スポンサークラブと話し合うべきです。クラブ設立に必要な会員数を満たし、独立することを希望する場合、独立したクラブの会員はもはやスポンサークラブまたは衛星クラブの会員とはみなされません。この場合、スポンサークラブと衛星クラブの正式な関係は解消されます。



衛星クラブは以下のものではありません：

- ロータリークラブまたはローターアクトクラブよりも「格下」の形態（衛星クラブの会員も「ロータリアン」または「ローターアクター」です）。
- 独立したロータリークラブ。衛星クラブは独自のクラブ加盟認証状を有しておらず、会員はスポンサークラブまたは以前のクラブの会員としてRIで数えられ、それに基づいて請求書が送られます。
- ローターアクトクラブ。ローターアクトクラブ会員も衛星クラブを結成したり、入会したりできません。



ロータリークラブはロータリー衛星クラブのみをスポンサーでき、ローターアクトクラブはローターアクト衛星クラブのみをスポンサーできます。

スポンサークラブのためのベストプラクティス：

- 設立後1年目には、衛星クラブの例会にスポンサークラブの会員も招く
- 衛星クラブとその会員への支援を目的とする委員会をスポンサークラブに設置する
- ロータリーの伝統維持、奉仕活動の機会やほかの会員や地元市民とのつながりを築くことにより焦点を当てる
- スポンサークラブが対面式で例会を開いている場合、衛星クラブでは追加費用（食事など）を任意とすることを検討する
- 衛星クラブの議長をスポンサークラブの理事会に招いたり、議長を理事会の職権上の委員としたりする
- ほかのロータリー行事に出席して知り合いのネットワークを広げることを衛星クラブの会員に奨励し、世界でのロータリーのインパクトを知ってもらう
- 地域社会で一緒に奉仕活動を行う

衛星クラブ会員も、ロータリークラブ／ローターアクトクラブの会員と同じようにMy ROTARYにアクセスできます。ただし、衛星クラブでの会員変更を報告できるのは、スポンサークラブのみとなります。スポンサークラブとの関係について、詳しくは**衛星クラブについてよくある質問**をご覧ください。

衛星クラブをつくるには？

衛星クラブを設立するにはまず、関心のある人たちのグループが必要となります。ただし、クラブや個々の事情によってプロセスが異なる場合があります。独立したクラブを設立する場合とは違い、ガバナーの承認は必要ありません。設立にあたっては、以下のリストを参考としてください。個々の状況に応じて、必ずしもこの通りの順番となるわけではありません。

1 準備する： 手順を始める前に、衛星クラブに関する**よくある質問**の資料に目を通してください。

2 スポンサークラブを見つける： スポンサークラブとなってくれるクラブを見つけましょう。次に、衛星クラブの設立を導き、入会候補者からの質問に答え、設立の予定についてほかのクラブに周知することができるスポンサークラブの会員を見つけます。ロータリーに関する知識が豊富で、衛星クラブの設立を熱心にサポートしてくれる会員がいれば、新クラブが成功する可能性も高まります。



入会候補者とスポンサークラブが決まったら、役員を選びます。衛星クラブの役員は、議長（ロータリークラブ会長に相当）、副議長、幹事、会計です。

3 会員を見つける：ロータリー衛星クラブの設立には少なくとも8人、ローターアクト衛星クラブの設立には4人の会員が必要です。異なる体験を生み出したいと考えるロータリークラブ／ローターアクトクラブの会員が衛星クラブ会員となることもでき、二つ以上のロータリークラブ／ローターアクトクラブから会員を集めることもできます。複数の既存クラブの会員が衛星クラブに入会する場合、これらの会員は以前の所属クラブの会員として数えられ、請求書も以前のクラブに送られます。

これまでロータリーに関わったことのない人が衛星クラブの会員となることもできます。地元クラブに会員がいないグループ、退職者、若い職業人、市民団体のメンバー、ロータリープログラムの**学友**、元会員とその友人・家族などにあたってみましょう。**入会候補者を見つける**を利用して入会できそうな人を見つけましょう。

4 説明会を開く：入会候補者を見つけたら、説明会に招待し、クラブが提供したいと考えている体験やロータリーに参加することのメリットを説明します。**入会候補者向けイベントの開催**を参考に、説明会の計画を立てましょう。説明会では、以下のようなトピックを扱うことができます：

- ロータリーの使命は何か、どのような奉仕活動をしているか
- ロータリーを通じてどのように人生が豊かになるか
- 入会を通じてどのような体験をしたいか
- 取り組みたい活動分野やプロジェクトはどのようなものか
- クラブの例会は、いつ、どこで、どのくらいの頻度で開くか
- クラブ会費などの経済的負担、例会や活動の時間的負担はどのくらいか
- 今後のステップは何か（衛星クラブ会員情報フォーム〔**ロータリークラブ用**〕または〔**ローターアクトクラブ用**〕の記入など）。

参加者に紹介できる資料：

- **つながりがもたらす力：ブランドリソースセンター**からダウンロード可能なこの動画は、行動人として会員が世界にもたらす変化を紹介しています。
- **入会候補者向けのチラシ：**ロータリーについての知識を深めてもらうために、説明会や地元での行事でこのチラシを配布しましょう。
- **自分にあったロータリーの体験をデザインしよう：**ロータリーへのさまざまな参加方法について紹介したこの資料を参加者に配布しましょう。



My ROTARYのアカウントを作って、以下のような情報や資料を入手しましょう：

- **ラーニングセンターの各種コース**
- **新ロータリークラブ：スポンサークラブ**
- **新ロータリークラブ：説明会を開くためのヒント**
- **新ロータリークラブ：クラブ例会**
- **バーチャル形式への躍進：参加を促進しよう**
- **ロータリーのブランドリソースセンター**

5 詳細を決める：準備が整ったら、以下の事柄を決定するためにスポンサークラブと相談しましょう：

- 衛星クラブでの体験は、スポンサークラブでの体験とどう異なるか。
- 衛星クラブは地域社会にどのような変化をもたらしていくか。
- 衛星クラブの当初の目的は、いずれ独立したクラブとなることか、または衛星クラブであり続けることか。
- クラブ会費と地区会費はどのくらいか、入会金やその他の短期的・長期的な費用について地区からの助成があるか。
- どこで、どのように入会候補者を見つけるか。
- どのような**会員種類**を設けるか。
- 会費と参加に関する会員への期待事項は何か。
- 衛星クラブとスポンサークラブの両理事会はどのように協力するか。意見の相違がある場合、どのように解決するか。
- クラブ名（**衛星クラブについてよくある質問**を参照のこと）
- 細則に含める内容：衛星クラブは、スポンサークラブと協力して独自の細則を定めます。細則はスポンサークラブからの承認を得る必要があります。スポンサークラブには通常、衛星クラブに関する細則があります。細則には、選挙の方法を必ず含めてください。



地域社会との強い関係を保ち、毎年クラブの現状評価（強みや課題など）を行っているクラブは、スポンサークラブか衛星クラブかを問わず、活気があり、会員が増える傾向があります。**クラブの健康チェック**をご参照ください。

次のステップ

- 1 **書式を提出する**：入会者とスポンサークラブが決まったら、衛星クラブ設立申請書（**[ロータリークラブ用]** または **[ローターアクトクラブ用]** と衛星クラブ会員情報フォーム（**[ロータリークラブ用]** または **[ローターアクトクラブ用]**）に記入し、日本事務局クラブ・地区支援室に送ります。
- 2 **新しい衛星クラブの結成を祝い、情報を発信する**：地域のほかのクラブや地区ガバナーに、新しい衛星クラブが設立されたことを伝え、地元での活動について情報を発信しましょう。



スポンサークラブと衛星クラブは、入会候補者や例会ゲストに対し、両方のクラブを紹介すべきです。二つの入会オプションがあることを説明するために、パンフレットを常に用意しておきましょう。ブランドリソースセンターに掲載しているカスタマイズ可能なチラシもご利用ください。

参考資料

衛星クラブの支援にあたっては、以下の資料をご利用ください：

- My ROTARYの**新クラブをつくろう**のページ
- **衛星クラブについてよくある質問**
- 衛星クラブ設立申込書（**ロータリー衛星クラブ用**または**ローターアクト衛星クラブ用**）
- 衛星クラブ会員情報フォーム（**ロータリー衛星クラブ用**または**ローターアクト衛星クラブ用**）
- クラブ・地区支援担当職員が衛星クラブに関するご質問にお答えします。地域社会にとって価値ある存在であり続けるために、**クラブ運営の柔軟性のページ**もご覧ください。



新会員とリーダーのための
のリソース：

- My ROTARYアカウントの作り方
- ロータリーの基本知識（手引き）
- ロータリーの基本知識（コース）
- 新会員オリエンテーションの資料
- ロータリーのブランドリソースセンター